



千歳市章（昭和27年5月1日制定）

ちとせの「ち」を飛行機の形に図案化して、空港がある臨空都市を表現するとともに、国立公園支笏湖とその連山、豊かな大地など、伸びゆく千歳の姿を描いています。

I 千歳市の概要

〔1〕位置及び地勢

北海道の中南部、石狩平野の南端に位置する千歳市は、札幌市や苫小牧市など4市4町に隣接し、札幌市へは北へ40km、JR快速電車で約30分の至近距離にあります。

市街地の標高は15m前後の低地となっていて、国内では最も低い25m前後の分水嶺が飛行場の付近にあり、江戸期には千歳川などを利用する北海道南部の河川交通の陸上部分・シコツ越えの地として栄えました。

市域の西部は山岳地帯で国立公園支笏湖地域を形成しており、豊かな自然に恵まれています。支笏湖は、約4万年前に支笏火山の大噴火でできたカルデラ湖で、面積が国内8位、最大水深及び貯水量は国内2位の大きな湖です。市街地は支笏湖を源とする千歳川の沖積地に広がり、飛行場・空港、工業団地、自衛隊駐屯地・基地などがあり、東部は丘陵地帯で自然豊かな農業地帯となっています。

千 歳 市 の 位 置		
方 位	町 名	経 緯 度
極 東	東 丘	東 経 141° 52′ 12″
極 西	美 笛	東 経 141° 10′ 17″
極 南	美 笛	北 緯 42° 40′ 53″
極 北	新 川	北 緯 42° 57′ 12″

千歳市役所の位置 東経：141° 39′ 04″ 北緯：42° 49′ 18″

広 が り 東西：57.20km 南北：30.40km

面 積 594.95 km²

隣 接 市 町 村 東：由仁町、安平町

西：伊達市

南：苫小牧市、白老町

北：札幌市、恵庭市、長沼町

〔2〕気候

千歳市は、太平洋と日本海の気象の影響を受ける分岐点にあり、梅雨や台風の影響が少なく、年間降水量は1,000mm程度で降水量も道内では少ない地域です。また、夏季の最高気温は30℃程度、冬季には最低気温が0℃未満の冬日が続き、年間の平均気温は7℃程度であり、内陸型のしのぎやすい気候となっています。

〔3〕 人口

千歳に戸長役場が置かれたのは、明治13年です。当時は、47世帯209人の宿場町に過ぎず、大正後期から昭和初期に至っても人口は5,000人前後の寒村でしたが、昭和14年に海軍航空隊の基地完成により人口が10,000人を超え、以来、戦後の米オクラホマ州兵団駐留や自衛隊の移駐などで人口は増え続け、昭和33年7月1日には、北海道第17位の人口となり、道内24番目の「市」になりました。

その後、市営工業団地への企業誘致や空港旅客ターミナルビルの完成など都市機能の充実を背景に、人口は順調に増えていきました。人口は平成7年第16回調査で8万人、17年には9万人を超え、22年は93,604人、27年は95,664人、令和2年では98,019人となり、人口増加数は、道内他市町村が人口減少の中、札幌市に次ぐ道内第2位で、増加率は道内市部第1位となり、増加の一途をたどっています。

千歳市の人口は、現在道内第10位となっております。

令和4年5月1日現在の人口・世帯	
男	49,186人
女	47,594人
総人口	96,780人
世帯数	50,654世帯

〔4〕 地名の由来

千歳の旧地名は、アイヌの人たちの言葉でシコツと呼ばれていました。シコツとは「大きくぼ地、または谷」という意味で、当時は、大空に鶴が舞い、川にはサケが溯る自然にあふれた大地でした。また、シコツには、太平洋と日本海を結ぶルートとなる「シコツ越え」があり、万治元年（1658年）に、現在の千歳神社の位置に志古津弁天小社が造営されるなど、人の往来が多い地でした。文化2年（1805年）、シコツ場所担当の箱館奉行調役山田鯉兵衛嘉充が箱館奉行羽太正養に新しい地名を付けてほしいと願い出ました。そこで、シコツの地には多くの鶴がいることから、「鶴は千年、亀は万年」の故事から千歳と命名されました。

千歳市民憲章

世界をつなぐ 北の大空。

千歳川の 清い流れ。

開拓 ここに一世紀。

私たちは、誇りある千歳市民です。

郷土の発展と、お互いのしあわせを

願い、この憲章をかかげて、力強く

全身をつづけます。

1. 心身をきたえ、仕事にはげみ、
明るく 若々しい まちにしましょう。

1. 自然を愛し、季節に親しみ、
快く 楽しい まちにしましょう。

1. きまりを守り、力を合わせて、
美しく 住みよい まちにしましょう。

1. 年よりを敬い、子どもの夢をはぐくみ、
温かく 平和な まちにしましょう。

1. 文化を育て、希望にみちた、
豊かな おちついた まちにしましょう。
(昭和54年7月11日制定)



「希望」「健康」「自然」「連帯」「愛」
をイメージする市民憲章像
(平成3年7月20日建)

Ⅱ 教育計画

〔1〕 千歳市教育大綱

1 基本目標

充実した学びと豊かな文化・スポーツのまち

2 基本方針

- (ア) 社会で生きる力を育む教育の推進
- (イ) 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
- (ウ) 学びを支え、つなぐ教育環境の充実
- (エ) 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進
- (オ) 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実
- (カ) まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承
- (キ) 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進

〔2〕 令和4年度教育行政執行方針

1 教育行政の基本姿勢

- (ア) 未来を拓く人づくり
- (イ) つながりの教育による人づくり
- (ウ) ふるさと千歳を育む人づくり

2 教育重点施策

- (ア) 確かな学力の向上
- (イ) 教育環境整備
- (ウ) 特別支援教育の充実
- (エ) いじめ・不登校の対策
- (オ) 生涯学習の推進

3 主な施策

- (ア) 社会で生きる力を育む教育の推進
 - 学年・学級経営
 - 確かな学力の育成
 - 特別支援教育
 - 外国語教育
 - 情報教育
- (イ) 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
 - ふるさと教育
 - 読書活動
 - 体力・運動能力
 - 食育
 - 学校給食
- (ウ) 学びを支え、つなぐ教育環境の充実
 - 学校運営
 - 家庭教育支援
 - 学校と地域の連携・協働
 - 学校段階等間の連携・交流
- (エ) 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進
 - 多様な主体の連携による学び合いと交流の場
 - 市民活動交流センター
 - 学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用
 - 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動
 - 学んだ成果を地域で生かす活動
- (オ) 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実
 - 乳幼児期からの家庭教育を支える学び

- 青少年の自立と成長を育む学び
- 成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学び
- 読書環境の充実
- (カ) まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承
 - 文化芸術に親しむ環境の整備
 - 文化財の保存と調査・研究及び継承
 - 文化財の活用
 - 世界文化遺産登録と資産保護の取組

〔3〕 千歳市第7期総合計画（教育関係）（令和3年度～令和12年度）

基本目標	展開方針	基本方向
充実した学びと豊かな文化・スポーツのまち	生涯学習により市民が活躍するまちづくりを推進します。	市民が生涯を通じて学ぶことができ、学びを通してまちづくりで活躍することができる基盤づくりを推進します。
		地域と学校の連携により、地域で子どもたちの学びや体験を支える活動を充実するとともに、市民が学んだ成果を生かしてまちづくりに取り組む活動の支援に努めます。
	生き生きと学び育つことができる小中学校教育の充実に努めます。	多様化する学習ニーズに対応し、時代に応じた学習活動を行えるよう、学習者用コンピュータや電子黒板などのICTを活用したわかりやすい授業の実践と活用能力の育成を図るなど、教育環境の充実に努めます。
		児童生徒が学校生活を安全で快適に送れるよう学校施設の計画的な整備を推進します。
		過大規模校の解消や、市内小中学校の適正規模・適正配置に努めます。
		学習指導要領に則し、求められる資質・能力の育成を目指して必要な教育課程を確実に実施するとともに、学校の実態や地域の特徴を生かして、特色ある教育活動を推進します。
		「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」のバランスが取れた子どもたちを育むため、学力向上・体力の向上に資する施策を推進します。
		幼児教育施設・小中学校・高等学校・大学が連携し、円滑な接続を目指すことで児童生徒の育ちを一貫して支援できる体制づくりに努めます。
		学校・家庭・地域が、「子どもをどのように育てていくか」、「どのような教育を実現していくか」という目標やビジョンを共有し、力を合わせて学校運営に取り組み「地域とともにある学校」の環境づくりを推進します。
		教員の指導力やコミュニケーション能力の向上を図るとともに、業務の見直しや合理化などの働き方改革を進め、教員が児童生徒とゆとりを持って向き合える環境づくりに努めます。

基本目標	展開方針	基本方向
		子どもの成長を見守り、支える主体として家庭の教育力向上を図るため、学校から保護者への働きかけを継続するなど、学校教育と家庭教育の連携を推進します。
		障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援することを目的に、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、特別支援教育体制の整備に努めます。
		いじめ問題への対応は学校・家庭・地域・関係機関と連携し、根絶に向けた取組を推進します。
		不登校等の悩みや問題行動を抱える児童生徒の現状を把握し、学校復帰に向けた適切な指導体制を構築するとともに、学校や関係機関との連携の中で早期解決に努めます。
		児童生徒が、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう、食に関する指導を実施するなど学校給食の充実に努めます。
		安全・安心で栄養バランスの取れた学校給食を提供するとともに、食物アレルギーに対応した、新学校給食センターの整備に努めます。
	高等教育等の機会を確保するとともに、学園都市の形成に努めます。	生徒や学生の学ぶ機会の確保に努め、より高度な専門知識を身につける機会を持てるよう努めます。
		公立千歳科学技術大学が千歳市の知の拠点として展開できるように「スマートネイチャーシティちとせ構想」の取組や地域社会との連携・協力の支援に努めます。
		市内にある高等教育機関が将来にわたって千歳市の活力となるよう連携した取組を進め、学園都市の形成に努めます。
	各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実に努めます。	保護者の家庭教育を支える学習機会の充実に努めます。
		市民それぞれのライフステージにおいて、変化の激しい社会を自立して人生を豊かに生きていくことができる学習機会の充実に努めます。
		地域課題・現代的課題に関する学習など、市民一人ひとりの関心を高

基本目標	展開方針	基本方向
		め、まちづくりの当事者意識を持って行動するために必要な学習機会の充実に努めます。
		安全で快適に利用できる社会教育施設の充実や、誰もが読書に親しみ、知識を深める環境づくりに努めます。
		青少年の学校外の体験活動や非行防止の取組を進め、青少年が健全に育つ環境づくりに努めます。
		青少年のネットトラブルに対応していくため、スマートフォン等の正しい利用や情報モラルの向上を促進します。
	文化芸術の振興と文化財の保護・継承に努めます。	多様な文化芸術に親しむことができる機会や地域に根ざした文化芸術活動の支援の充実に努めます。
		千歳の貴重な文化財を大切に保存、活用し、将来にわたり市民が文化財の持つ価値や魅力を享受できるよう、次世代へと確実に伝えとともに、市民と一緒に文化財を地域で守り継承していくことを目指します。
		先人から受け継がれてきたアイヌ語や伝統舞踊、伝統儀礼をはじめとしたアイヌの伝統及び文化の保存・継承に努めるとともに、普及・啓発の取組を進め、アイヌの歴史や伝統・文化の魅力について市民の理解を深めます。
	誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの普及に努めます。	健康づくりや体力増進に関する市民の意識を高めるとともに、生涯を通じて誰もがスポーツに親しむことができる場や機会の充実に努めます。
		多様化するスポーツニーズを把握し、スポーツ活動や指導者体制の充実に努めます。
		既存スポーツ施設の老朽化に伴う整備改修を進め、快適で安全なスポーツ施設の充実に努めます。

〔４〕 千歳市教育振興基本計画（令和３年度～令和１２年度）

基本目標	施策項目
社会で生きる力を育む教育の推進	認め合い、高め合う学年・学級経営の充実
	確かな学力の育成
	特別支援教育の充実
	外国語教育・国際理解教育の充実
	情報教育の充実
	キャリア教育・体験的な活動の充実
	防災・安全教育の充実
豊かな心と健やかな体を育む教育の推進	道徳教育の充実
	いじめ・不登校に対する取組の充実
	ふるさと教育の充実
	読書活動の推進
	体力・運動能力の向上
	食育の推進
	健康教育の推進
学びを支え、つなぐ教育環境の充実	学校運営の充実
	学校施設・設備の充実
	学びのセーフティネットの構築
	教員の研修の推進
	家庭教育支援の充実
	学校と地域の連携・協働の充実
	学校段階等間の連携・交流の充実
市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進	多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実
	学習情報と市民活動交流センター機能の充実
	学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進
	地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実
	学んだ成果を地域で生かす活動の充実
各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実	乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実
	青少年の自立と成長を育む学びの充実
	青少年非行防止への取組の推進
	成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実
	ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実
	社会教育施設機能と読書環境の充実
まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承	文化芸術に親しむ環境の整備
	地域に根差した文化芸術活動への支援充実
	文化財の保存と調査・研究及び継承の支援
	文化財の活用と推進
	世界文化遺産登録と資産保護の取組の推進
誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進	スポーツ活動の啓発と参加促進
	スポーツに親しめる機会の充実
	スポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成
	スポーツ施設の機能充実と利便性向上

〔5〕 千歳市子どもの読書活動推進計画（第3次）（令和3年度～令和12年度）

基本理念	推進方向	施策の概要と主な取組
全ての子どもが読書習慣を身に付け、自主的に読書活動を行うことができるよう、家庭、地域、学校等の連携を促進し、積極的にその環境整備を進める。	家庭、地域、学校等を通じた社会全体での子どもの読書活動の推進	施策1：家庭における読書活動の推進 - 絵本を通じて親子がふれあうブックスタート事業の実施 - 絵本等の紹介による乳幼児期の読書機会の充実 - 家読（うちどく）の積極的な推進
		施策2：地域における読書活動の推進 - こどもネウボラ事業における読書活動の推進 - 読書の楽しみを知るきっかけとなる読み聞かせの実施（図書ボランティアの活用促進） 「子ども読書の日」のイベント開催及びポスターの配布・掲示による啓発 - 図書ボランティアの育成活動を継承するための講座の開催 - 図書館まつりの実施
		施策3：学校等における読書活動の推進 - 朝読書などの読書活動の推進 - 子どもが集まる施設でリーフレットやポスターを活用した情報発信 - 小中学校における新刊図書、推奨図書などの展示 - 高等学校で実施する読書活動の推進
	子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備	施策1：地域における読書環境の整備 - 図書の団体貸出による利用の促進 - 中学生、高校生向けの図書の充実 - 図書館だよりの発行 - 移動図書館車の運行 - 子ども読書週間事業の実施 - 障がいや発達に遅れのある子どもに対応した資料の整備・充実
		施策2：学校図書館司書における配置環境の整備 - 学校図書館の整備と設備の充実 - 学校図書館の地域開放 - 学校図書館司書の配置の拡充